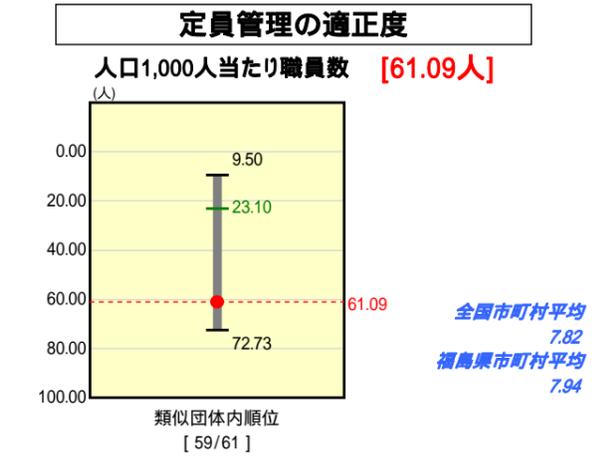
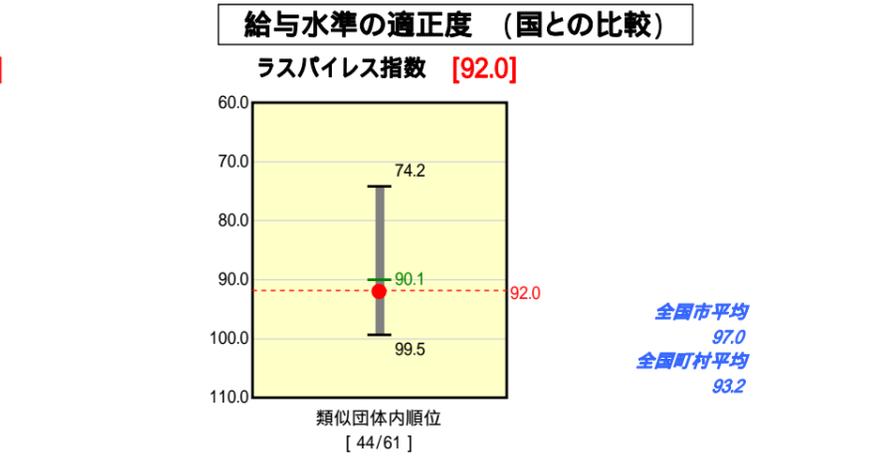
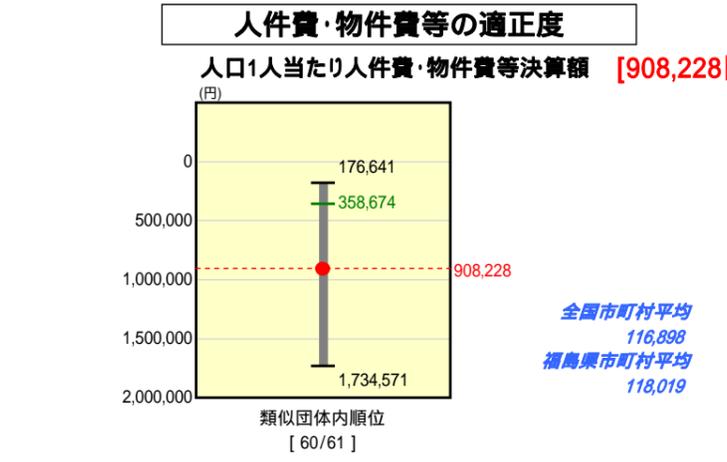
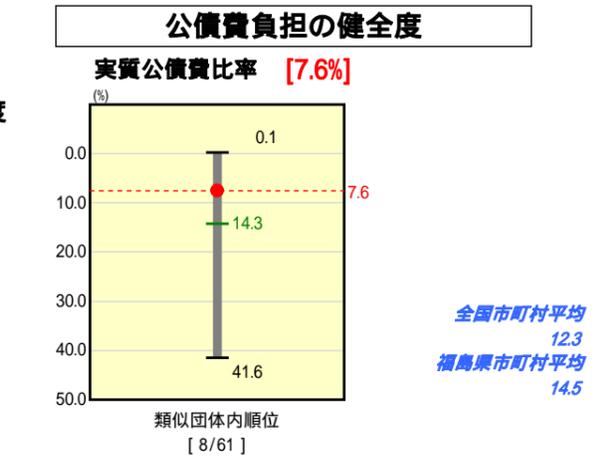
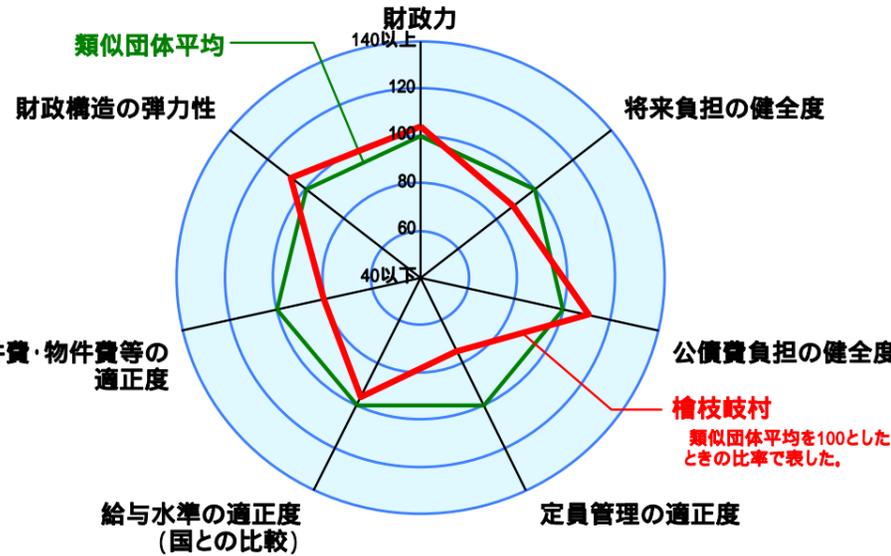
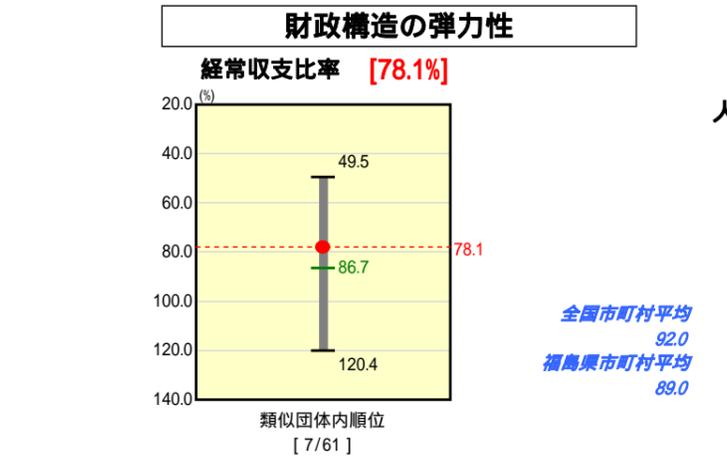
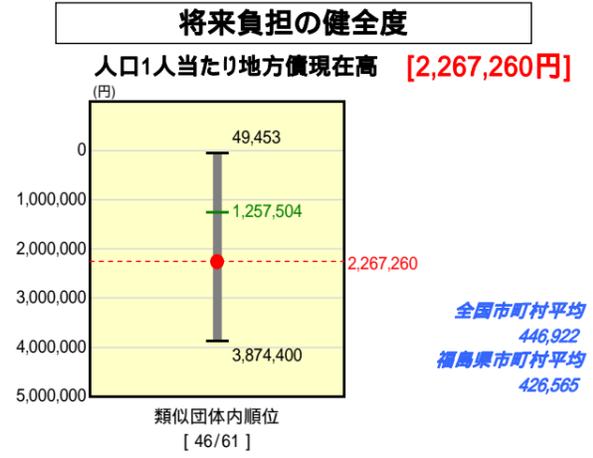
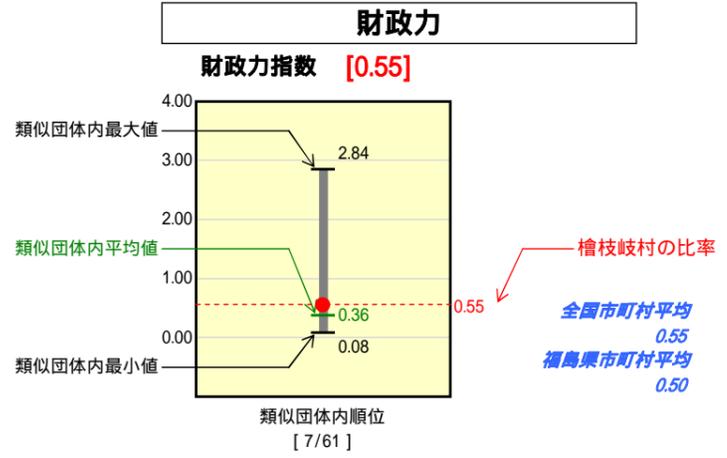


# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 福島県 檜枝岐村

人口	622人	(H20.3.31現在)
面積	390.50	km <sup>2</sup>
歳入総額	1,824,522	千円
歳出総額	1,727,820	千円
実質収支	96,702	千円



### 分析欄

**【財政力指数】**  
水力発電施設の立地により、他の類似時団体に比べ比較的税収の割合が大きく、全国の市町村平均と同じレベルであるが、毎年施設の償却により減収となっているため、ここ数年は連続して低下している。ただ、公債費における財政需要が、大きく減少していく見込みであることから、今後数年間は大幅な低下はないものと予想される。

**【経常収支比率】**  
人件費や公債費などの経常経費は減少しているものの、下水道事業会計の分流式下水道等に要する経費の繰出金が大きく上昇し、結果的に、昨年度に比べ3ポイント悪化した。他の団体の平均と比べると、まだ70%台と低い水準であるが、今後においても経常経費の抑制を図り、比率の維持に努める。

**【実質公債比率】**  
地方交付税措置のある地方債の割合が多いこと、特別会計への繰出金等の準元利償還金の抑制により、実質的な公債費の比率は、他の団体に比べ大幅に低い比率となっている。今後も適正な公債費負担に努める。

**【人口1人当たりの地方債現在高】**  
過疎債などの地方交付税への算入率が高い起債が主であるため、実質的な住民負担は少なく将来負担の健全性は保たれている。

**【ラスパイレス指数】**  
給与水準は、全国市町村平均を下回っている状況である。給与構造の見直し等により、より一層の適正化を図っていく。

**【定員管理の適正度】**  
行政が直接事業を展開し、住民の雇用確保を図ってきたことにより職員数は、類似団体平均を上回っている。地域の特殊性や住民生活の満足度などを考慮した独自性のある定員管理を実践していく必要がある。

**【人口1人当たり人件費・物件費等の決算額】**  
人口規模が極端に小さいため、1人当たりのコストは、必然的に大きくなり、比較するには困難である。昨年度と比べると、数値が上昇しているが、これは直営の診療所における常勤医師の確保に伴う、経費が増加したことによる。